

【A年】

聖霊降臨後第五主日

特定九

主よ、わたしたちは主に寄りなれば、何一つ良いことはできません。どうか、主に従い、み心になうように生き、常に正しいことを思い、また行うことができますように、主イエス・キリストによってお願いいたします。

アーメン

司祭 「聖書のみ言葉を聞きましょう」

会衆は着席する。

旧約聖書

朗読者 「旧約聖書はゼカリヤ書第九章九節から」

9 娘シオンよ、大いに踊れ。
娘エルサレムよ、歓呼の声をあげよ。

見よ、あなたの王が来る。
彼は神に従い、勝利を与えられた者
高ぶることなく、ろばに乗って来る
雌ろばの子であるろばに乗って。
10 わたしはエフライムから戦車を
エルサレムから軍馬を絶つ。

戦いの弓は絶たれ
諸国の民に平和が告げられる。
彼の支配は海から海へ
大河から地の果てにまで及ぶ。
11 またあなたについては

あなたと結んだ契約の血のゆえに
わたしはあなたの捕らわれ人を
水のない穴から解き放つ。
12 希望を抱く捕らわれ人よ、砦に帰れ。
今日もまた、わたしは告げる。
わたしは二倍にしてあなたに報いる。

朗読者 「旧約聖書を終わります」

詩編

腰掛けたままで、一節ずつ交互に唱える。

第一四五編 十四く十九節

- 14 主は悩みのうちにある者を支え＝ 倒れる者をすべて立たせてくださる
- 15 すべての者の目はあなたを待ち望み＝ あなたは時にしたがって命の糧を恵まれる
- 16 生きているすべてものの願いを＝ あなたはみ手を開いて満たされる
- 17 主の行われることはすべて正しく＝ そのみ業は慈しみに満ちている
- 18 主はおられる、助けを求める人の近くに＝ 心から祈る人の傍らに
- 19 神を畏れる人の願いを聞き入れ＝ その叫びを聞いて助けられる

使徒書

朗読者 「使徒書はローマの信徒への手紙第七章一二節から」

21それで、善をなさうと思ふ自分には、いつも悪が付きます。22「内なる人」としては神の律法を喜んでいますが、23わたしの五体にはもう一つの法則があつて心の法則と戦い、わたしを、五体の内にある罪の法則のとりこにしているのが分かります。24わたしは

なんと惨めな人間なのでしよう。死に定められたこの体から、だれがわたしを救つてくれるでしようか。25わたしたちの主イエス・キリストを通して神に感謝いたします。このように、わたし自身は心では神の律法に仕えていますが、肉では罪の法則に仕えているのです。

1 従つて、今や、キリスト・イエスに結ばれている者は、罪に定められることはありません。2 キリスト・イエスによつて命をもたらす霊の法則が、罪と死との法則からあなたを解放したからです。3 肉の弱さのために律法がなしえなかつたことを、神はしてくださつたのです。つまり、罪を取り除くために御子を罪深い肉と同じ姿でこの世に送り、その肉において罪を罪として処断されたのです。4 それは、肉ではなく霊に従つて歩むわたしたちの内に、律法の要求が満たされるためでした。5 肉に従つて歩む者は、肉に属することを考え、霊に従つて歩む者は、霊に属することを考えます。6 肉の思いは死であり、霊の思いは命と平和であります。

朗読者 「使徒書を終わります。」

一同立つ。
ここで聖歌を歌う。

福音書

司祭 「主は皆さんとともに」

会衆 「また、あなたとともに」

司祭 「聖マタイによる福音書第十一章二五節以下に記さ

れた主イエス・キリストの福音。主に栄光」

会衆 「主に栄光がありますように」

25 そのとき、イエスはこう言われた。「天地の主である父よ、あなたをほめたたえます。これらのことを知恵ある者や賢い者には隠して、幼子のような者にお示しになりました。26 そうです、父よ、これは御心に適うことでした。27 すべてのことは、父からわたしに任せられています。父のほかに子を知る者はなく、子と、子が示そうと思ふ者のほかに、父を知る者はいません。28 疲れた者、重荷を負う者は、だれでもわたしのもとに来なさい。休ませてあげよう。29 わたしは柔和で謙遜な者だから、わたしの輓を負い、わたしに学びなさい。そうすれば、あなたがたは安らぎを得られる。30 わたしの輓は負いやすく、わたしの荷は軽いからである。」

司祭 「主に感謝」

会衆 「主に感謝します」